

SHARP®



EV用コンバータ
JH-WE2301

V2Hシステム

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書および太陽光発電システム・蓄電池システム
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ず
お読みください。
この取扱説明書および別冊の充放電コネクタ緊急離脱工具
取扱説明書と緊急離脱工具は、保証書とともにいつでも見
ることができる所に必ず保管してください。

「COCORO MEMBERS」で「製品登録」をお願いします



入会特典

- 家電製品をWEBでまとめて管理できる！
- 登録製品に関する消耗品、取扱説明書などサポート情報へ簡単アクセス！
- 抽選で当社製品などが当たる「わくわくポイント」がもらえる！

COCORO MEMBERSは、
シャープ製品/COCOROサービスをご利用の
お客様向けのシャープの会員サービスです。

ココロメンバーズ

検索

<https://cocoromembers.jp.sharp/m/>



はじめに

安全にお使いいただくために	3
製品と取扱説明書について	6
自動ソフトウェアバージョンアップについて	7
接続する車種に関する注意点	7

各部のはたらきと操作方法

各部のはたらきと操作方法	8
EV 用コンバータ	8
充放電コネクタ、EV 用コンバータ据え置きスタンド（据え置きスタンド）	9
EV の接続方法と接続解除方法	10
EV 用コンバータでの非常停止方法	12
マルチエネルギーモニタの使いかた	14
ソーラートップ画面の見かた／操作方法	14
マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面の操作方法	15
EV を手動で充電する	16

各種設定をする

運転モードについて	18
運転モードを設定する	20
V2H 充電上限、V2H 放電下限を設定する	20
契約電力／夜間時間帯を設定する	21
自立運転の自動切り替えを設定する	22

停電時に電気をつかう

停電時に電気を使うには（自立運転）	23
自立運転に関するご注意	23
EV の電力でシステムを起動する（停電時起動用ケーブルの接続方法）	24
ダイレクト充放電をつかう	25

このようなときは

このようなときは	26
EV 用コンバータの温度抑制アイコンが表示されたら	26
「お知らせします」と表示されたら	26
エラーコード概要	27
保証とアフターサービス	30
お手入れの仕方	31
仕様	31
お客様ご相談窓口のご案内	裏表紙

はじめに 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。記載事項に従わず使用されたことが原因による事故や故障などについては、当社は責任を負いかねます。また、接続先の太陽光発電システム／蓄電池システムの取扱説明書や電気自動車の取扱説明書もあわせてご確認ください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

! 記号は、しなければならないことを表しています。

本書での V2H システムの表現について

以降、蓄電池本体と蓄電池モジュールを合わせて、蓄電池と表します。蓄電池連携型パワーコンディショナはパワーコンディショナと表します。また、本製品に接続可能な電気自動車 (EV/PHEV) を EV と表します。

⚠ 警告

異常状態のまま放置しない。

以下の場合には、ただちに EV 用コンバータの運転を非常停止 (P.12 ページ) して、お買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口 (P.裏表紙) にご連絡ください。

- EV 用コンバータから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合
- 設置場所または隣接する建物で火災が発生した場合



なお、非常停止した後、EV 用コンバータ、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池および太陽電池モジュールなどにはさわらないでください。感電・けがのおそれがあります。

EV 用コンバータの正面パネルや充放電コネクタの接続部を開けない。EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドの分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

- ⊘ 感電・けがのおそれがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンド付近に可燃性ガスを発するものや引火物をおかない。また、近くで殺虫剤、除草剤などの可燃性ガスを使用しない。

- ⊘ 火災の原因となるおそれがあります。

ペースメーカーや植え込み型除細動器 (ICD) をお使いの方は運転中の EV 用コンバータには近づかないでください。操作する必要がある場合は他の方にお問い合わせください。

- ⚠ ペースメーカーや ICD に一時的な影響を与える場合があります。

⚠ 注意

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドに火気、湯気、水蒸気、冷氣、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない、近づけない。

⊘ 発火・感電のおそれがあります。

ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器やアマチュア無線を充放電中の EV 用コンバータに近づけない。

⊘ 発火・感電のおそれがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドは、潮風の影響を受ける地域の屋外には設置しない。

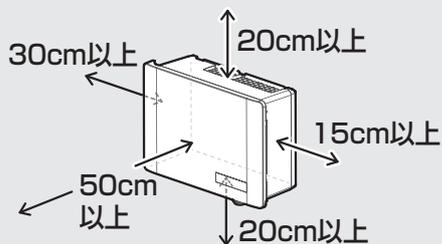
⊘ 故障の原因となることがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドは常時濡れる場所や湿度が高い場所には設置しない。

⊘ 故障の原因となることがあります。

EV 用コンバータの周辺(上下 20cm 以内、左側 30cm 以内、右側 15cm 以内)に物を置かない。

⊘ 内部の放熱が不十分となり、発煙・発火のおそれがあります。また、点検時の作業のため、前面 50cm 以内に物を置かない。



EV 用コンバータおよび充放電コネクタは、高温になる場所または、閉め切った狭い場所で使用しない、袋や布でおおわない。

⊘ 充放電量低下／充放電停止の可能性があると同時に、部品が劣化して発煙・焼損するおそれがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドを蹴る、落とすなど、振動や強い衝撃を与えたりしない。

⊘ 変形により短絡し、発火・破裂・火災の原因となるおそれがあります。

充放電コネクタケーブルに下記のような過度の力を加えない。

ぶらさがる、ひっぱる、屈曲させる、踏みつける、車両のタイヤでひく

⊘ 故障の原因となることがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドの上に乗る、ぶらさがる、物を置くなどしない。

⊘ 落下・転倒・けがのおそれがあります。

EV 用コンバータおよび充放電コネクタを油のついた手、ぬれた手で操作しない。操作する場合には濡れないようにする。

⊘ 感電のおそれがあります。特に雨天時等の充放電コネクタの取り付け時にはご注意ください。

充放電コネクタの EV との接続部（電極部分）が汚れたまま使用しない。

⊘ 故障の原因となるおそれがあります。汚れや異物等が付着している場合、手で直接触れず、やわらかい布などで乾拭きしてください。

充放電コネクタの EV との接続部（電極部分）に触れない。

⊘ 感電のおそれがあります。

子どもに操作させたり、近くで遊ばせない。

⊘ けが・感電・やけど・火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

雷が予測される時は、EV 用コンバータおよび充放電コネクタなどに触れない。

 感電のおそれがあります。

EV 用コンバータ、充放電コネクタおよび据え置きスタンドをベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない。

 溶解により故障の原因となるおそれがあります。

日差しの強い日や氷点下の日には EV 用コンバータおよび充放電コネクタ、据え置きスタンドを素手で触らない。

 高温によるやけどや凍傷のおそれがあります。

充放電コネクタを取り付けたまま EV を運転しない。

 故障の原因となることがあります。

EV 用コンバータに接続されているアース線ははずさない。

 発火・感電・けが・故障のおそれがあります。

積雪、浸水のおそれがある場所に EV 用コンバータおよび据え置きスタンドを設置しない。

 発火、感電、けがのおそれがあります。

EV 用コンバータのお手入れの際は、パワーコンディショナの運転を停止する。

 感電のおそれがあります。またパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV 用コンバータの運転停止後は高温になっている場合があり、触るとけがややけどのおそれがあります。

 EV コンバータ本体表面は非常に高温になり触れるとやけどのおそれがあるため、不用意に触れないでください。特にお子様、お年寄りのいるご家庭では、柵を設置するなど不用意に近づけないような対策をしてください。

 長くご使用いただくために、定期的に点検されることをおすすめします。動物の排泄物や土等が付着することで汚れることがあります。点検についてはお買いあげの販売店にご相談ください。

 EV 用コンバータの周辺や排気口付近に落ち葉や積雪がたまらないように定期的な確認をおすすめいたします。

 エラーや誤操作によって V2H システムが停止することや EV の接続が解除されることがあります。定期的にマルチエネルギーモニターにエラー表示などが出していないかを確認することをおすすめします。

 EV 用コンバータおよび充放電コネクタは動作温度の範囲内でお使いください。

 EV 用コンバータから漏れるノイズが、近隣のアマチュア無線やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。アマチュア無線の運用周波数によって影響が異なりますが、見通せる範囲にアンテナがある場合は距離が離れていても影響を与える場合があります。特に HF 帯（30MHz 以下の周波数）で運用されているアマチュア無線局が 100m 以内の距離にある場合は、影響を与える場合が多くなりますので、設置をおやめください。お買いあげの販売店にご相談ください。

製品と取扱説明書について

- ・本製品では、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または修理に関するご相談窓口（☎裏表紙）まで、ご連絡ください。
- ・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書、付属品について

- ・本書には○印の取扱説明書、保証書などが付属します。
太陽光発電システム、蓄電池システムについては、マルチエネルギーモニタ同梱の取扱説明書（別冊）をご確認ください。

取扱説明書（V2Hシステム）【本書】	○
EV用コンバータ保証書	○
充放電コネクタ 緊急離脱工具取扱説明書 （緊急離脱工具含む）	○
取扱説明書（太陽光発電システム／蓄電池システム）	マルチエネルギーモニタ同梱
マルチエネルギーモニタ保証書	
太陽光発電システム／パワーコンディショナ保証書	パワーコンディショナ同梱
蓄電池システム保証書	蓄電池本体同梱

- ・太陽光発電システム、蓄電池システム、V2Hシステムはいずれも日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書などはございません。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
- ・本書の記載内容、各種サービスなどの内容は、本書発行時点のものです。改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- ・本取扱説明書に記載されているイラストや画面例は説明用のものであり、実物とは異なることがあります。

システム構成

各システムは、以下の機器で構成されます。システムを併設される場合、共通の機器は共用できます。

● V2Hシステム

- ・EV用コンバータ（充放電コネクタ、ケーブル含む）
- ・蓄電池連携型パワーコンディショナ
- ・マルチエネルギーモニタ
- ・売買センサー
- ・RPRセンサー
- ・接続用ケーブル類など

● 太陽光発電システム

- ・太陽電池モジュール
- ・一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナまたは太陽電池パワーコンディショナ
- ・マルチエネルギーモニタ
- ・売買センサー
- ・接続用ケーブル類など

● 蓄電池システム

- ・蓄電池
- ・一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナ
- ・マルチエネルギーモニタ
- ・売買センサー
- ・RPRセンサー
- ・蓄電池用コンバータ
- ・接続用ケーブル類など

V2Hシステムを設置にあたり補助金を受けた場合のご注意

補助金の支給を受けて、本製品を購入した場合は、補助金ルールに従って、一定期間、適正に管理・運用してください。

登録商標、商標

- ・「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
- ・その他記載されている会社名、システム名、製品名は各企業、団体の商標または登録商標です。

自動ソフトウェアバージョンアップについて

マルチエネルギーモニタがネットワークに接続している場合、マルチエネルギーモニタ、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV用コンバータを自動で最新のソフトウェアへバージョンアップをおこないます。バージョンアップ中はEVは接続が解除され接続することができません。

バージョンアップ開始時にEVが接続されていた場合はバージョンアップ完了後に再接続されます。

※通信機器や回線状況によっては、通信が安定せず、自動ソフトウェアバージョンアップができない場合があります。

※最新のソフトウェアは順次配信されますので、最新のソフトウェアにバージョンアップするまでに日にちを要する場合があります。また、マルチエネルギーモニタにエラーが表示されている場合や、停電などで自立運転をおこなっている場合は、自動ソフトウェアバージョンアップは実施されません。

※バージョンアップ中に停電が発生した場合、バージョンアップは中止します。停電が回復後、バージョンアップを再開する場合があります。また安全のため、マルチエネルギーモニタ、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV用コンバータの運転が停止する場合がありますが、しばらくすると運転を再開します。

接続する車種に関する注意点

● 当社製 V2H システムの対応車種ならびに車種ごとの注意点については、シャープホームページをご参照ください。

<https://jp.sharp/sunvista/v2h/v2h-connect/>

今後、発売される車種については、対応車種に追加します。なお、全ての車種の接続をお約束するものではありません。

● 対応車種の内、EV側のプログラムの変更が必要となる場合があります。

EVのプログラムの変更に関しては、EVをお買いあげの販売店へお問い合わせください。

◆放電非対応車種に接続する際の注意点

● 放電非対応車種の場合、EV用コンバータ操作での手動充電のみ可能です。

手動充電以外で接続した場合、自動で接続を解除します。

● 自立運転時は接続することができません。

● EV側で設定されている充電許可時間をこえての充電はできません。

● EVが高温もしくは低温のときや、家庭内の電力消費が多いときなど十分な充電ができない場合にEVの接続が解除されることがあります。（家庭内の電力消費を減らすか、契約電力の見直しをすることで改善する場合があります。）

● 専用コンセント／専用配線／専用分電盤に機器が繋がれている場合、充電電力が小さくなる場合があります。

◆日産自動車株式会社の車両（EV）に接続する際の注意点

日産自動車株式会社の車両とV2Hシステムの充放電コネクタを接続した状態で日産自動車の「EV-IT」機能は使用しないでください。車両および本製品の機能が正常に動作しません。誤って使用してしまい、正常に動作しなくなった場合は、下記の操作をおこなってください。

● 車両のリセット

(1) 充放電コネクタを車両から取りはずします。

(2) 車両のブレーキペダルを踏み、パワースイッチをONにします。

(3) 車両のタイマー機能（タイマー充電、タイマーエアコン）が設定されている場合は、設定を解除します。

(4) 車両のパワースイッチをOFFにします。

● 点検コード発報時の対処

上記車両のリセットをおこなっても改善しない場合は、マルチエネルギーモニタに表示されているメッセージに従って対応してください。

◆三菱自動車工業株式会社の車両（EV）に接続する際の注意点

● 三菱自動車工業株式会社の車両のタイマー充電とプレ空調機能は、利用できません。

● 三菱自動車工業株式会社の車両は、駆動用バッテリーの容量維持のためできる限り2週間に1回程度はV2Hシステム以外の普通充電で満充電にするようにしてください。

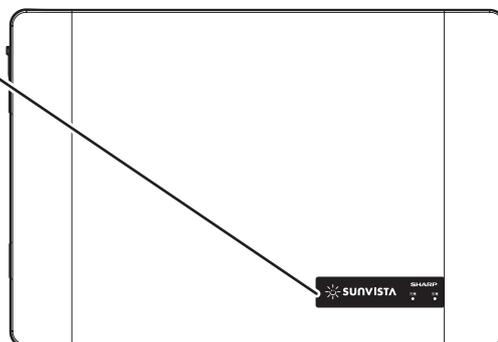
各部のはたらきと操作方法

◆ EV 用コンバータ正面

ランプの状態 で EV 用コンバータの運転状態を表示します。



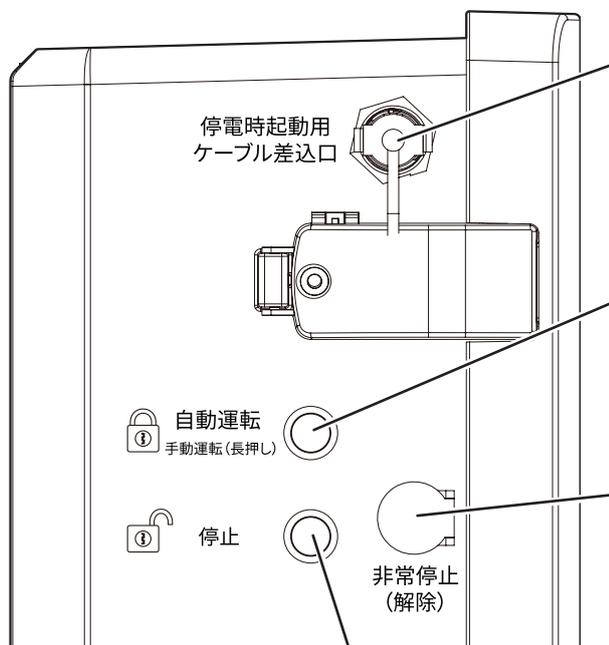
状態	充電ランプ	放電ランプ
EV 未接続	消灯	消灯
待機中	緑色点灯	緑色点灯
充電中 (手動充電中)	緑色点灯 (橙色点灯)	消灯
放電中	消灯	緑色点灯
自動運転開始処理中 (手動充電開始処理中)	緑色点滅 (橙色点滅)	緑色点滅 (消灯)
エラー発生時	いずれかが赤色点滅*	
非常停止中	赤色点滅	赤色点滅



充放電コネクタケーブル

※ EV 起因のエラーの場合、充電ランプが点滅し、EV 起因ではない場合、放電ランプが点滅します。

◆ EV 用コンバータ左側面



停電時起動用ケーブル差込口

停電時に EV から電気を供給して V2H システムを起動する場合に使用します (24 ページ)。

自動運転ボタン

EV を V2H システムに接続し、自動運転を開始します。長押し (2 秒以上) した場合は接続後に手動充電 (16 ページ) で運転開始します。

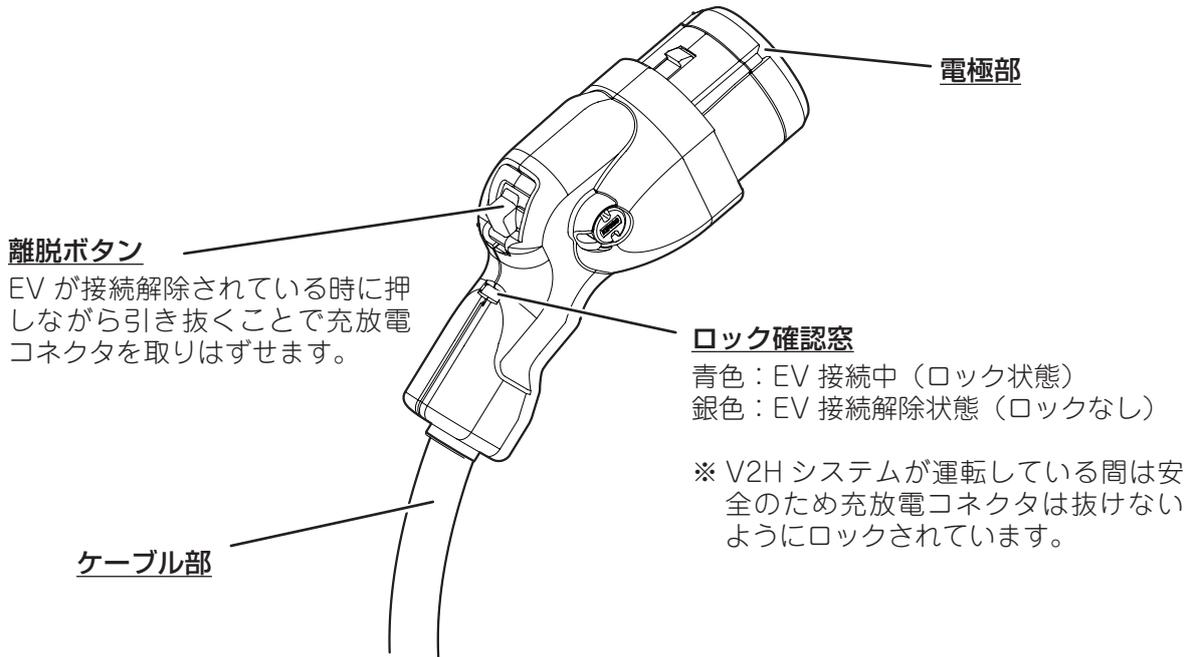
非常停止ボタン

緊急時に非常停止する際に使用します (12 ページ)。再度押すことで非常停止状態を解除します。非常停止を解除した後は安全を確認の上、マルチエネルギーモニターでパワーコンディショナの点検状態の解除および運転開始をおこなってください。

停止ボタン

V2H システムの充放電 (運転) を終了し、EV の接続を解除します。

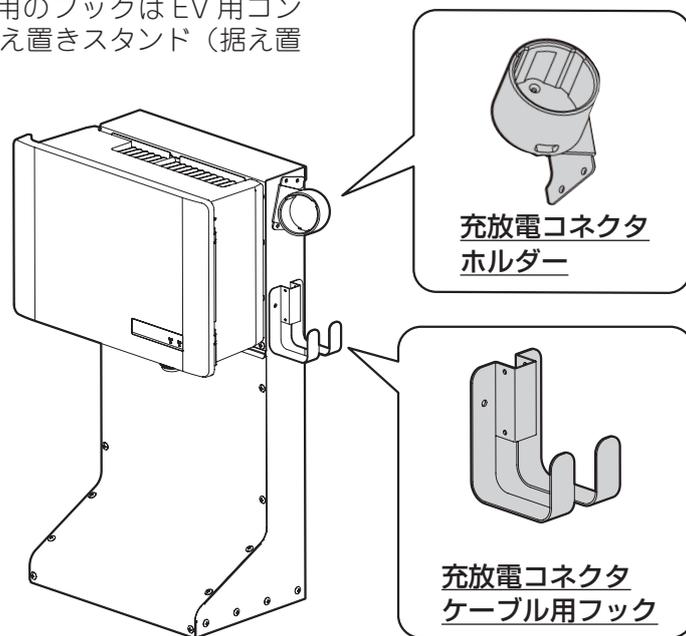
◆ 充放電コネクタ



◆ EV 用コンバータ据え置きスタンド（据え置きスタンド）※・充放電コネクタホルダー

※ EV 用コンバータ据え置きスタンド（据え置きスタンド）はオプションとなっております。

充放電コネクタホルダーやケーブル用のフックは EV 用コンバータ付近の壁や EV 用コンバータ据え置きスタンド（据え置きスタンド）横に設置されます。



充放電コネクタホルダーの場所や向きについてはイメージとなります。

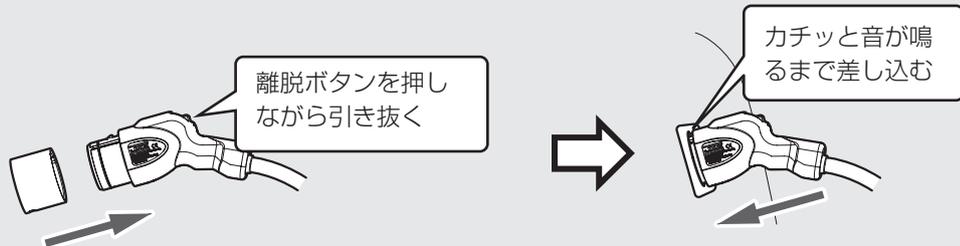


- 充電ランプおよび放電ランプは点灯／点滅後の 30 分以降に光り方が弱くなります。
- 初回起動時など EV 用コンバータが起動した際に充電ランプと放電ランプを交互に緑点滅します。
- 充放電コネクタのケーブルを束ねた状態、またはケーブル用フックに巻き付けた状態のままで EV に接続しないでください。
- EV に接続しない場合、充放電コネクタは V2H システムのホルダーに格納してください。

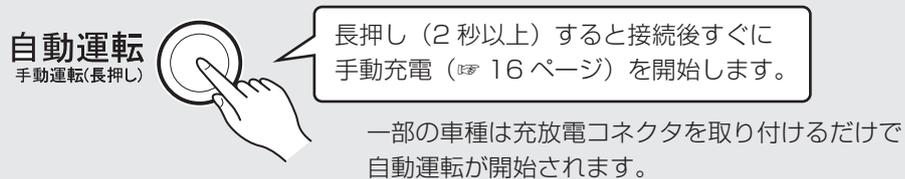
EV の接続方法と接続解除方法

EV を接続する

1 充放電コネクタをコネクタホルダーからはずしEVの給電口に取り付ける



2 自動運転ボタンを押す(1秒程度)



3 いずれかのランプが緑色点灯になったことを確認する (接続が完了すると充放電コネクタのロック確認窓が青色になる)



メモ

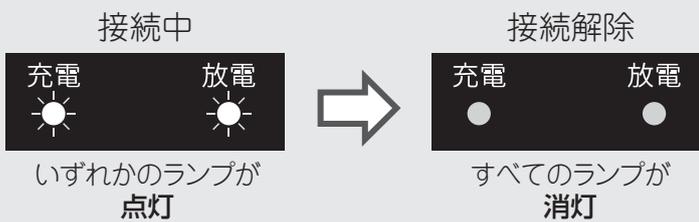
- 一部の車種は充放電コネクタを取り付けるだけで自動運転が開始されます。ただし、蓄電池の設置がなく、かつ、太陽光発電の発電がない場合は自動運転ボタンを押す操作が必要となります。

EV を接続解除する

1 停止ボタンを押す



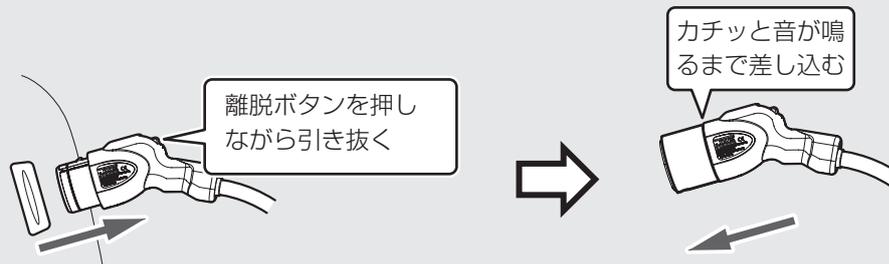
2 ランプが消灯することを確認する (接続解除が完了すると充放電コネクタのロック確認窓が銀色になる)



●赤色点滅となった場合は接続解除が完了していない場合があります。

マルチエネルギーモニターで状態を確認したうえで、再度操作してください。

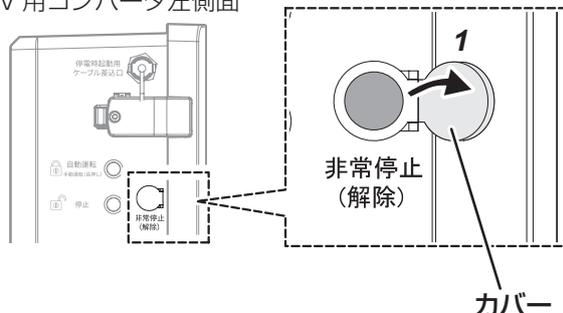
3 充放電コネクタをEVの給電口から取りはずし、充放電コネクタホルダーにもどす



◆非常停止および非常停止状態の解除方法

- 感電や発火のおそれなどがある際は、EV 用コンバータ左側面の非常停止ボタンを押し込んでください。EV の接続解除および V2H システム / 太陽光発電システム / 蓄電池システムを停止します。
- 安全を確認できたあとに非常停止の解除をおこなってください。

EV 用コンバータ左側面



非常停止状態
ボタン押し込みあり



平常時 (解除)
ボタン押し込みなし



1 非常停止ボタンのカバーを開く

2 非常停止ボタンを押し込む

3 非常停止解除する際は再度ボタンを押し込む

ボタンは押し込まれていない状態となり、非常停止が解除されます。非常停止を解除したあとはマルチエネルギーモニターでパワーコンディショナの再起動をおこなってください。

◆EV を接続する / 接続解除する際の注意

- EV の接続解除後しばらくは再接続できません。接続解除後すぐに EV の接続操作をした際には、接続が失敗する場合があります。しばらく待ってから接続操作をしてください。
- パワーコンディショナが手動停止中や点検状態の場合は EV を接続できません。マルチエネルギーモニター側面の運転切替ボタンを押して画面上で点検解除や運転再開をおこなってください。詳しい操作方法は太陽光発電システム / 蓄電池システムの手取扱説明書をご確認ください。
- 操作をする前に充放電コネクタに割れやヒビなどの異常がないか、機器から異音や異臭がないか、マルチエネルギーモニターにエラーが表示されていないか、を確認してから操作してください。ケーブルに傷がある場合や凍結している場合などは、こんなときに (P. 28 ページ) を参照してください。
- 手や充放電コネクタが濡れた状態では、充放電コネクタの操作をしないでください。感電のおそれがあります。濡れている場合は乾いた布で十分にふき取ってから使用してください。
- 暴風雨や雷が予測される場合は充放電コネクタの操作をしないでください。雨や雪の場合、充放電コネクタが濡れないようご注意ください。感電や故障につながるおそれがあります。万が一濡れてしまった場合は布などで水分・雪をふき取ってください。
- 充放電コネクタに強い衝撃を加えた場合、充放電コネクタがロックされる場合があります。(ロックされると充放電コネクタのロック確認窓が青色となります) ロックされたままとなってしまった場合、こんなときに (P. 28 ページ) の「充放電コネクタがロックされたままになっている」の項をご確認ください。

—メモ—

せくじ・はじめに

取扱説明書について

各部のはたらきと操作方法

各種設定をする

停電時に電気をつかう

このおうちなごきは

マルチエネルギーモニタの使いかた

V2H システムと接続した場合に追加される記載について説明します。
太陽光発電システムや蓄電池システムに関する説明はマルチエネルギーモニタの取扱説明書を確認してください。

■ ソーラートップ画面の見かた／操作方法

◆電気自動車（EV）が接続されている場合（画面は一例です）

EV の電池残量
接続された EV の電池残量を 11 段階で表示します。

EV 用コンバータの温度抑制アイコン (☞ 26 ページ)

手動充電後の待機中表示 (☞ 17 ページ)

The screenshot shows the 'Solar Top' screen with the following elements:

- Top navigation: ソーラー, 設定, 履歴
- Status: 連系運転中
- Power generation: 3.70kW (発電)
- EV charging: 1.20kW (充電中), 0.00kW (待機中)
- Power consumption: 1.40kW (消費)
- Handwritten power: 1.10kW (売電中)
- Bottom status: 今日の家消費率 100%
- Buttons: 充電待機中, V2H操作, おしらせ

運転モード (☞ 18 ページ)
蓄電池が併設されている場合は V2H と蓄電池のアイコンの下に共通で運転モードが表示されます。

V2H 操作ボタン
V2H システムに関する操作画面 (☞ 15 ページ) を表示します。

◆電気自動車（EV）が接続されていない場合（未接続状態）、EV のアイコンが変化し、V2H 操作ボタンが EV 接続ボタンに変化します。



EV 接続ボタン

EV との接続を開始します。
充放電コネクタを EV に取り付けた状態で操作してください。
充放電コネクタが取り付けられていない場合や取り付けが不十分な状態で操作した場合はエラーが表示されます。



メモ

- EV の接続解除をしてすぐに、EV 接続ボタンを押した場合や EV 用コンバータ左側面の自動運転ボタンを押した場合、エラーとなる場合があります。時間をおいてから接続をしてください。
- 専用コンセント／専用配線／専用分電盤に機器が繋がれている場合、充電電力が小さくなる場合があります。

マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面の操作方法

V2H 操作画面はトップ画面の「V2H 操作」ボタンもしくは設定タブの「V2H 操作」から表示できます。連系運転中と自立運転中で表示が異なります。

◆連系運転中 (EV 接続あり)

手動充電ボタン

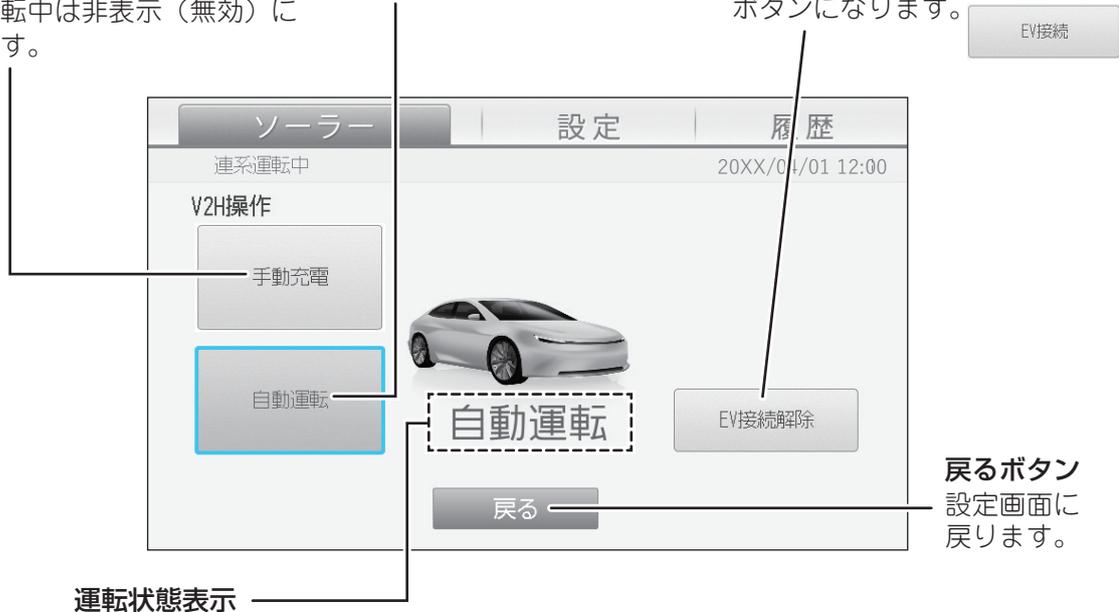
手動での充電 (☞ 16 ページ) を開始します。自立運転中は非表示 (無効) になります。

自動運転ボタン

運転モード (☞ 18 ページ) にそった運転をします。

EV 接続解除ボタン

EV との接続を解除します。EV が未接続の場合は EV 接続ボタンになります。



運転状態表示

自動運転:	運転モードにそった運転をします。
手動充電中:	手動での充電中、もしくは充電後の待機中です。
未接続:	EV が接続されていない、もしくは EV との通信中です。
蓄電池から充電中:	蓄電池から EV にダイレクト充放電中 (☞ 25 ページ) です。
蓄電池に放電中:	EV から蓄電池にダイレクト充放電中 (☞ 25 ページ) です。

◆自立運転中 (EV 接続あり)



ダイレクト充放電ボタン

蓄電池併設の場合のみ表示されます。EV と蓄電池間のダイレクト充放電 (☞ 25 ページ) を開始します。



- 自立運転中は太陽光発電の発電して余った電気による充電および蓄電池からのダイレクト充電のみとなり、手動での充電はできません。

EV を手動で充電する

遠くに出かける前や停電にそなえてすぐに充電しておきたい場合などには、EV を手動で充電することができます。EV の手動充電は連系運転中のみ利用可能です。
V2H 充電上限 (☞ 20 ページ) の設定値にかかわらず充電します。

EV 用コンバータで操作する場合

1 充放電コネクタをEVに取り付ける

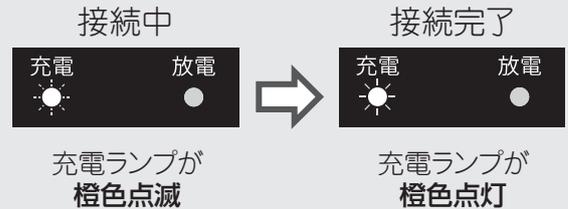


2 EV用コンバータ左側面の自動運転ボタンを長押しする(2秒以上)



3 EV用コンバータ正面の充電ランプが橙で点灯することを確認する

すぐに充電が終了した場合、緑点灯になる場合があります。



マルチエネルギーモニタで操作する場合

1 充放電コネクタをEVに取り付ける



2 マルチエネルギーモニタのトップ画面でEV接続をタップする



3 マルチエネルギーモニタのV2H操作画面で手動充電をタップする

4 EVアイコン下の表示が手動充電中になっていることを確認する



手動充電の後の動き

充電が完了した後は、12 時間待機します。

12 時間後も EV が接続されている場合、直前に設定されていた運転モードでの自動運転に戻ります。



手動充電を途中で止める場合

マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面で自動運転をタップするか EV 接続が解除された場合に手動充電が終了します。



！ 蓄電池と併設している場合の注意点

- EV の手動充電中、蓄電池は放電をおこなわず、電力会社からの電力での充電もおこないません。発電して余った電気は EV の手動充電に使われますが、それでも余った電気は蓄電池に充電されます。
- EV が充電後待機中となった場合は、蓄電池は直前に設定していた運転モードに戻り、運転モードによって運転再開します。



メモ

- 充電後待機中の間に、充電量の維持のため、充電する場合があります。
- EV 側の設定や電池保護のため、100% 未満で充電が終了する場合があります。

運転モードについて

運転モードについて

連系運転中は、V2H システムおよび蓄電池の充電／放電は運転モードに従って制御されます。

V2H システムが接続されていない場合の運転モードについては、太陽光発電システム／蓄電池システムの取扱説明書をご確認ください。

●経済性モード：

- 発電して余った電気は売電されます。
- 夜間時間帯（☞ 21 ページ）に EV や蓄電池の充電をおこないます。
- 夜間時間帯以外の時間帯の買電中に EV や蓄電池から放電をおこないます。

売電目的、
夜間電力活用目的の方におすすめてです。

自家消費目的、
夜間電力活用目的の方におすすめてです。

●クリーンモード（夜間充電あり）：

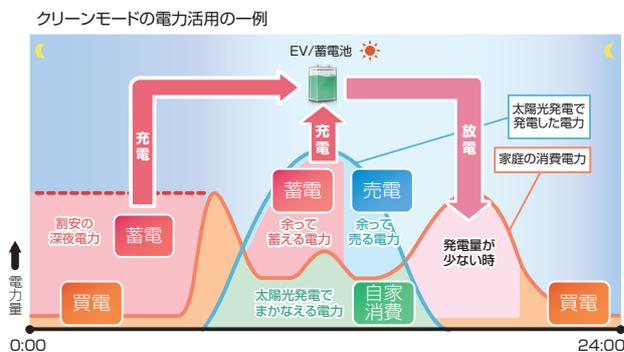
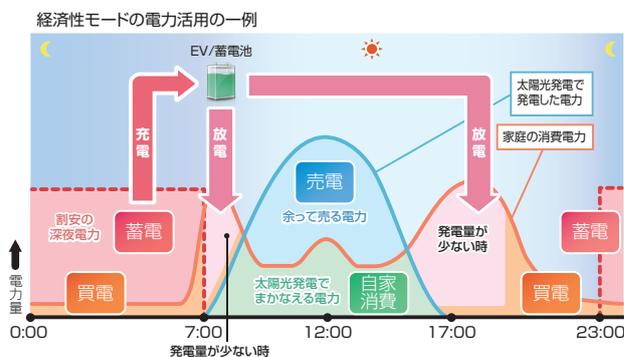
- 発電して余った電気は EV や蓄電池に充電されます。
- 発電して余った電気または夜間時間帯に電力会社からの電力で充電をおこないます。電力会社からの電力での充電については V2H 充電上限（☞ 20 ページ）で設定している値まで充電をおこないます。
- 夜間時間帯以外の買電中には EV や蓄電池から放電をおこない、電力会社からなるべく電力を買わないようにします。

●ECHONET Lite 機器専用モード：

ECHONET Lite 対応機器から充電・放電の制御を受け付けている状態です。手動でこのモードに切り替えることはできません。

●充電モード（EV の手動充電）

EV を手動で充電中（☞ 16 ページ）は充電モードになります。運転モード設定画面ではこのモードに切り替えることはできません。



- 買電量が少ない（0.1kW 未満）ときは、EV から放電をおこなわない場合があります。余剰電力を EV に充電する場合、若干量の売電（0.5kW 程度まで）をおこないながら充電します。天候や消費によって変動する余剰電力で充電するため、電力会社からなるべく電力を買わないように制御します。

蓄電池と V2H システム併設時には下記の運転モードが追加になります。

●**クリーンモード（蓄電池夜間充電なし）：**

V2H システムはクリーンモード（夜間充電あり）の動作になります。蓄電池は、発電して余った電気
で充電をおこない、電力会社からなるべく電力を買わないように放電をおこないます。夜間時間帯は、
蓄電池の放電で、EV を充電することがあります。蓄電池残量が少ない状態が続くと、蓄電池保護の
ため、自動的に電力会社からの電力で充電することがあります。

●**蓄電池充電モード：**

蓄電池への充電を優先的におこないます。蓄電池残量が少ない場合や、非常時に備えて蓄電池残量を
増やす場合に使用します。蓄電池の充電中、EV は放電をおこなわず、電力会社からの電力での充電
もおこないません。発電して余った電気は蓄電池の充電に使われますが、それでも余った電気は EV
に充電されます。充電完了後、蓄電池は 24 時間待機状態となり、EV は直前に設定していた運転モー
ドに戻ります。

◆**蓄電池併設時の充放電の優先順位について**

蓄電池と V2H システム併設時には同時に充電・放電が可能です。
同時に充電・放電をおこなう際には以下の各運転モードによって優先的に充電・放電がおこなわれます。

<運転モードごとの充放電優先順位>

運転モード	充電	放電
経済性モード*	蓄電池優先	EV 優先
クリーンモード（夜間充電あり） クリーンモード（蓄電池夜間充電なし）	EV 優先	蓄電池優先
充電モード／蓄電池充電モード	充電対象の機器を優先	

※自立運転時は経済性モードと同じ優先順位となります。



メモ

- 蓄電池実容量診断中は、運転モードにかかわらず V2H システムは待機状態になります。
- EV の電池保護のため、残容量が少ない状態で接続された場合は一定量まで充電をおこないます。
- 充放電の優先順位は、同じパワーコンディショナに蓄電池用コンバータおよび EV 用コンバータを併設した場合のみ有効です。

運転モードを設定する

V2H システムおよび蓄電池の運転モードを設定します。



1 設定のタブの「運転モード設定」をタップする



2 運転モードを選択する

選択すると、外枠が青色に変わり、運転モードが設定されて設定画面に戻ります。

※初期設定では「経済性モード」に設定されています。

※ ECHONET Lite 機器専用モードは ECHONET Lite 対応機器から指示を受けているときの運転モードです。手動でこのモードに切り替えることはできません。

V2H 充電上限、V2H 放電下限を設定する

V2H 充電上限：クリーンモード利用時に夜間時間帯に充電する上限値

V2H 放電下限：停電時や EV の走行に備えて残しておく放電の下限値



1 設定のタブの「V2H設定」をタップする



2 V2H充電上限およびV2H放電下限を設定する

それぞれ設定範囲は 0 ~ 100% です。

初期設定では、V2H 充電上限は 100%、V2H 放電下限は 20% に設定されています。

※「特定車種設定」の項目は、対象の車種以外の方は操作しないでください。「特定車種設定」については、特定車種との接続について (P. 29 ページ) を参照してください。



- EV 側で充電上限が設定されている場合、マルチエネルギーモニターで設定した「V2H 充電上限値よりも低い値で充電を停止」することがあります。また、EV 側で放電下限が設定されている場合、マルチエネルギーモニターで設定した「V2H 放電下限値よりも高い値で放電を停止」することがあります。
- V2H 放電下限を設定していても、EV の電池保護のため、設定した放電下限より前に放電を停止する場合があります。
- EV の電池残量が V2H 放電下限近くになると、放電⇄待機を繰り返すことがありますが、自動調整動作であり故障ではありません。

契約電力／夜間時間帯を設定する

！ ご注意

電力会社とのご契約が変更になった場合には都度設定を見直してください。

もくじはじめに

取扱説明書について

各部のはたらきと操作方法

各種設定をする

停電時に電気をつかう

このようときは



1 設定のタブの「夜間時間帯 契約電力設定」をタップする



2 夜間時間帯の入力枠をタップし、夜間時間帯を設定する

夜間時間帯を短く設定すると、蓄電池やEVの充電が十分におこなわれない場合があります。充電を十分おこなうためには、夜間時間帯の充電開始時刻を、電力会社とのご契約内容に合わせてください。



3 契約電力の入力枠をタップし、契約電力を確認する

設置工事業者により設定済みです。入力範囲は1～50kVAです。A（アンペア）契約のお客様はkVAに換算して入力してください。（例 10A → 1kVA）蓄電池・夜間蓄熱器等を設置されている場合に、契約内容と異なる値を設定する場合があります。設定内容にご不明な点がありましたら、お買いあげの販売店にお問い合わせください。



4 静音設定を設定する

静音運転ではパワーコンディショナのファンの回転数を抑えた運転をおこないます。静音設定があるパワーコンディショナが接続されていない場合、表示されません。

5 「決定」をタップして設定を完了する



メモ

- 「契約電力設定」に設定された値でブレーカーが落ちないように充電量をコントロールします。誤った値を設定すると、充電量が少なくなる場合や頻繁にブレーカーが落ちる場合があります。

自立運転の自動切り替えを設定する

停電時に連系運転と自立運転を自動で切り替える設定をおこないます。

蓄電池システムを設置している場合または V2H システムを設置している場合のみ設定できます。

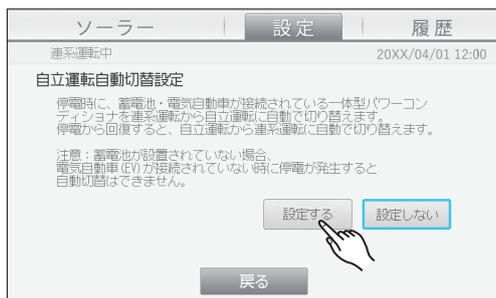
ただし、蓄電池システムがなく V2H システムに EV が接続されていない場合や、蓄電池や EV が電池保護のために放電ができない場合に停電になった際には自動切り替えができません。

！ ご注意

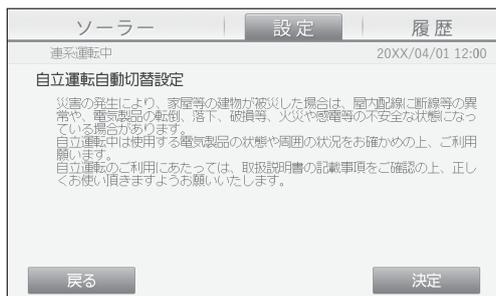
- ◆ 停電時に電力を供給するコンセント等には、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器は接続しないでください。
- ◆ 蓄電池や EV の残量がなくなり、機器への電力供給が停止した場合は、安全のため機器の電源をお切りください。停電が復旧した場合などに自動的に電力が供給され、不安定になる場合があります。
- ◆ 停電時に自動切り替えできなかった場合、自動で EV 接続を解除することがあります。
- ◆ 自立運転の注意事項 (P. 23 ページ) をよくお読みになってご使用ください。



1 設定のタブの「自立運転自動切替設定」をタップする



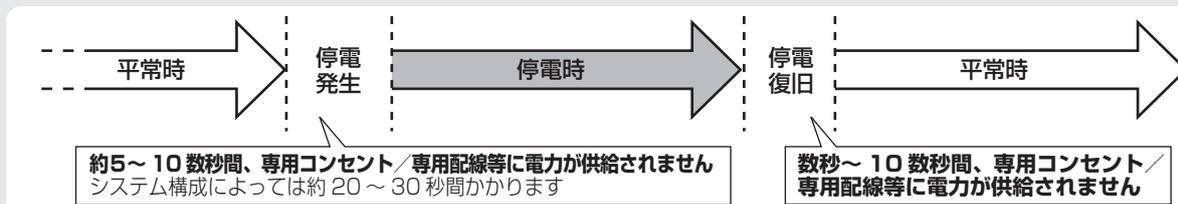
2 「設定する」をタップする



3 注意事項を確認のうえ「決定」をタップする

！ ご注意

- ◆ 自立運転自動切り替えを設定した場合でも、運転モードの自動切り替えにより、一時的に専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤 (家中まるごと停電対応) に電力が供給されない時間があります。



※ 停電時に電力を供給するコンセント等以外に接続された電気機器は、停電時はお使いいただけません。

停電時に電気を使うには（自立運転）

自立運転では、太陽光発電で発電した電気や蓄電池やEVに貯めた電気を専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転に関するご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください。**
自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（P.22 ページ）。
- **太陽電池モジュールが発電していないときは蓄電池やEVより電力を供給します。**
夜間など発電できないときも蓄電池やEVの電池残量があれば、自立運転できますが、EVが未接続の場合はEVからは電力を供給できません。
- **停電時に電力を供給するコンセント等を使用してください。**
自立運転では、専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）のみに電力が供給されます。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **最大でパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器が使用できます。**
消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。特定の電流波形（半波整流）を有する機器（一部のドライヤー、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電熱機器や温水便座など）やモーターで作動する機器（一部の掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）、運転開始時に大きな電流が流れる機器を使用した場合、保護機能が働き、システムの運転が停止する場合があります。また、アースを必要とする機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。また、蓄電池やEVの電池残量・周囲温度等の条件により保護機能が働き、放電電力が抑制されることがあります。発電電力が低下し電池残量がない場合や保護機能が働いた場合、家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転時の発電量と停電時に電力を供給するコンセント等からの消費量は積算されません。**
自立運転時に太陽光発電した電力量と停電時に電力を供給するコンセント等で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※パワーコンディショナの機種によって異なります。

警告

専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転時の発電電力は天候により変動します。停電時に電力を供給するコンセント等につないだ電気機器の消費電力より発電電力が小さい時はEVもしくは蓄電池から電力を補いますが、蓄電池やEVの残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。



メモ

- 停電時に電力を供給するコンセント等の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 停電時に電力を供給するコンセント等には平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。
- 自立運転時にEVへの充電電力が小さい状態が続いた場合はEVの電池保護のため接続を解除する場合があります。

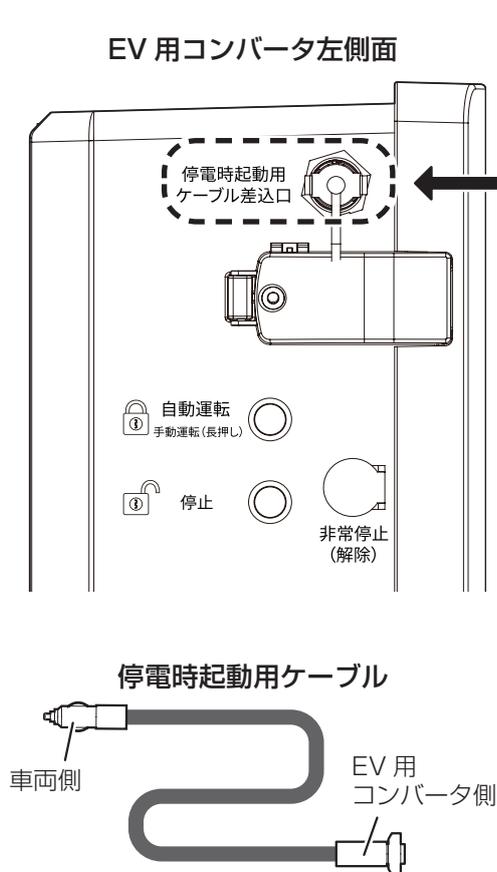
EV の電力でシステムを起動する (停電時起動用ケーブルの接続方法)

停電になったとき、太陽光による発電がなく蓄電池からの電力供給もなく（蓄電池システムがない場合や蓄電池残量がなくなった場合を含む）、EV が接続されていない場合は V2H システムに電源供給がないため、V2H システムは通常の方法では起動および EV の接続ができません。EV から給電することで V2H システムを起動させることができます。

※ 車種によっては記載内容と異なる操作が必要となる場合があります。詳しくは EV の取扱説明書を参照してください。

一部車種では、停電時起動用ケーブルを使わずに充放電コネクタを取り付けるだけで起動させることができます。対応車種については、シャープホームページをご参照ください。

<https://jp.sharp/sunvista/v2h/v2h-connect/>



1 充放電コネクタをEVに取り付ける

2 EV 用コンバータの停電時起動用ケーブル差込口のフタをはずし、ケーブルを差し込む

3 停電時起動用ケーブルをEVのシガーソケットに差し込みEVのACC（アクセサリ）をONにする

EV の ACC（アクセサリ）を ON にする方法については、EV の取扱説明書をご確認ください。

EV から給電されると一時的に EV 用コンバータおよびマルチエネルギーモニタに電力が供給され、起動します。（充電ランプおよび放電ランプが点滅します）

4 EV 用コンバータ左側面の自動運転ボタンもしくはマルチエネルギーモニタの V2H 操作画面で EV を接続する

3. の操作後すぐに操作すると反応しない場合があります。

1 分程度待ってから操作してください。

5 EV 用コンバータのランプやマルチエネルギーモニタで EV の接続を確認したあとは停電時起動用ケーブルを取りはずし、停電時起動用ケーブル差込口のフタを確実に閉める

停電時起動用ケーブルを取り付けている間は EV の内部の電源を消費します。取り付け後はすみやかに EV 接続をおこない、接続完了後はかならず取りはずしてください。

6 パワーコンディショナを自立運転に切り替える

切り替え方法は太陽光発電システム／蓄電池システムの取扱説明書をご確認ください。

ダイレクト充放電をつかう

ダイレクト充放電とは

自立運転時に EV から蓄電池に、もしくは蓄電池から EV に電力を移動させることができます。停電時に復電した地域で EV を充電し、それを蓄電池に移すことも可能です。

操作方法



1 自立運転中にEVを接続する

電力供給がない場合の接続方法は「EV の電力でシステムを起動する」(P.24 ページ)をご確認ください。

2 マルチエネルギーモニタの「V2H操作画面」で下記のいずれかをタップする

- ・蓄電池から充電
蓄電池から EV に充電されます。
- ・蓄電池に放電
EV から蓄電池に放電されます。



3 マルチエネルギーモニタのトップ画面にダイレクト充電中／ダイレクト放電中のアイコンが表示されることを確認する

放電側の電池残量が少ない場合などダイレクト充放電がおこなえない場合などにはすぐにダイレクト充放電が終了する場合があります。その場合、アイコンは表示されません。

ダイレクト充放電に関する注意事項

- ・ダイレクト充放電を途中で停止する場合は、V2H 操作画面にて自動運転をタップするか EV 接続解除をタップしてください。
- ・ダイレクト充放電は、蓄電池が満充電もしくは残量がなくなった場合や、EV が EV 側で設定されている放電下限付近になった場合もしくは充電上限になった場合、自動でダイレクト充放電を終了し自立運転に戻ります。
- ・ダイレクト充放電中は専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に電力を供給しながら電力の移動をするため、消費量が多い場合は十分な充電／放電ができない場合があります。

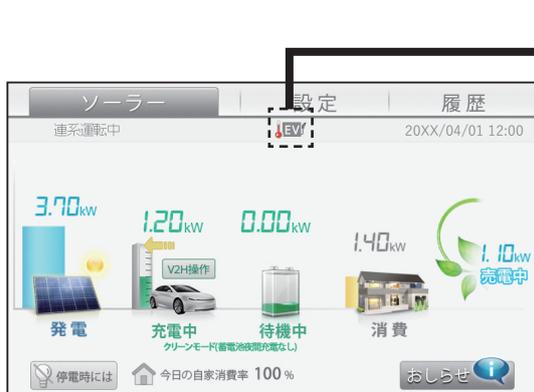


メモ

- 1 台のパワーコンディショナに蓄電池と V2H システムが併設されている場合のみ利用することができます。
- 車種によっては EV の電池保護のため、放電下限より高い値で放電が停止する場合や、満充電にならず充電が停止する場合があります。
- ダイレクト充放電中はマルチエネルギーモニタで設定した V2H 放電下限値 (P.20 ページ) は適用されません。

このようなときは

EV 用コンバータの温度抑制アイコン が表示されたら

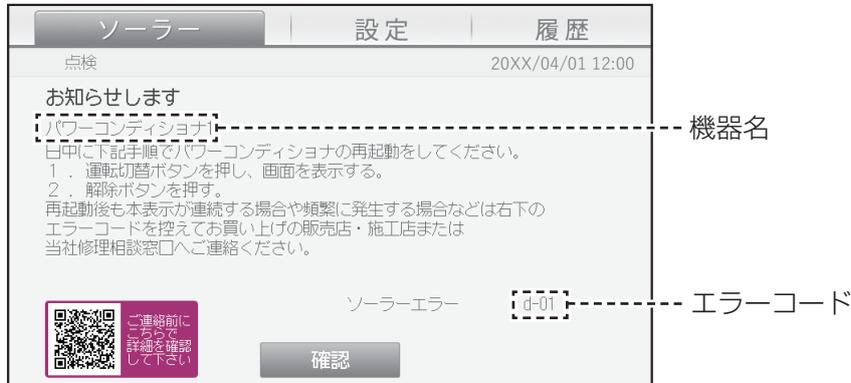


連系運転中に EV 用コンバータ内部の温度が高くなりすぎると、V2H システムの充放電出力を一時的に抑えます。通常は故障ではありません。内部温度が下がると、表示は消えます。頻繁に表示されたり、長時間消えない場合は、修理に関するご相談窓口（☎裏表紙）にご相談ください。

「お知らせします」と表示されたら

マルチエネルギーモニタに「お知らせします」と表示され、以下のような画面が表示されたときやタブに  が表示されているときは、画面に表示される対処法に従って、ご対応ください。Web サービス「故障診断ナビ」をご利用いただくとより詳細の案内があります。

修理に関するご相談窓口（☎裏表紙）にエラーをご連絡いただくときは、エラーメッセージの末尾に表示されるエラーコード（アルファベットと 2 桁の数字）と「お知らせします」の下に表示される機器名を合わせてお知らせください。



太陽光発電システム以外が原因の場合も「ソーラーエラー」と表示される場合があります。



いつでも便利なWebサービス【故障診断ナビ】

故障かな?とお困りのときは、いつでも便利なWebサービス「故障診断ナビ」をお試しください。

https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/solar/navi_top.html

スマートフォンや携帯電話はこちらから



- EV 用コンバータの温度は外気温と一致しない場合があります。また、日当たりや外気の状態や EV 用コンバータの運転状態によって外気温との差は変動します。

エラーコード概要

下記記載のないエラーコードについては、取扱説明書（太陽光発電システム／蓄電池システム）もしくは Web サービス「故障診断ナビ」でご確認ください。パワーコンディショナの再起動手順については、マルチエネルギーモニタの取扱説明書をご確認ください。対応後も改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関する相談窓口（☎裏表紙）へご連絡ください。

M-	● V2H システムに関する異常を検出し、安全のため運転を停止しています。
01	EV 用コンバータの非常停止ボタンが押されたため、すべてのシステムの運転を停止しています。安全を確認のうえ、非常停止ボタンを解除し、パワーコンディショナを再起動してください。
02	EV 用コンバータとパワーコンディショナ間の通信が途絶したため、安全のためすべてのシステムの運転を停止しています。パワーコンディショナを再起動してください。
03	EV 用コンバータ内で異常を検出したため、安全のためすべてのシステムの運転を停止しています。パワーコンディショナを再起動してください。
Q-	● V2H システムに関する異常を検出し、システムの一部を停止しています。
01、02	本システムに対応していない車種が接続されたため、EV の接続を中止しました。当社ホームページ等で対応車種かどうかをご確認いただくか、V2H システムをお買いあげの販売店へご相談ください。
06、07、08、09、10、11、12	EV から停止信号を受信したため、EV の接続を解除しました。EV 側に警告灯や警告メッセージなどの異常がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27	EV 用コンバータ内部で異常を検出したため、EV の接続を中止しました。EV 側に警告灯や警告メッセージなどの異常がないこと、充放電コネクタ・ケーブルに損傷がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
31	充放電コネクタに関する異常を検出しました。こんなときに（☎ 29 ページ）の「充放電コネクタがロック状態になっている」の項をご確認ください。
32、33	充放電コネクタに関する異常を検出したため、EV の接続／接続解除を中止しました。充放電コネクタ・ケーブルに触らず、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面のボタンで EV の接続もしくは接続解除をおこなってください。
30、34、36	充放電コネクタで感電のおそれがある異常を検出したため、EV の接続／接続解除を中止しました。充放電コネクタ・ケーブルに触らず、充放電コネクタ・ケーブルに損傷がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面のボタンで EV の接続もしくは接続解除をおこなってください。
35	パワーコンディショナと EV 用コンバータ間の一時的な通信異常を検出したため、充放電を停止しています。しばらくお待ちください。
37	EV 用コンバータ内部で異常を検出したため、EV の接続を解除しました。充放電コネクタ・ケーブルに損傷がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
38	充放電ケーブル・コネクタで異常を検出したため、EV 用コンバータの動作を停止しました。感電のおそれがあるため、充放電コネクタ・ケーブルに触らず充放電コネクタ・ケーブルに損傷がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
39	EV 用コンバータの温度が高いため、EV の接続を解除しました。EV 用コンバータの周囲に物が置かれていないかご確認のうえ、日がかげった後など温度が下がった際に、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。

(つづく)

もくじ

はじめに

各部の名前とはたらき

システムを使う

履歴を見る

設定する

ネットワーク設定をする

19のりなどときほ

エラーコード概要

Q- (つづき)	● V2H システムに関する異常を検出し、システムの一部を停止しています。
40	EV との通信途絶を検出したため、EV の接続を解除しました。EV 側に警告灯や警告メッセージなどの異常がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
41	EV 用コンバータと EV 間の通信異常のため、EV の接続を中止しました。EV の接続解除後すぐに接続操作をした場合、接続に失敗する場合があります。時間をおいてから、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
42	EV が放電できない状態となったため、EV の接続を解除しました。EV 側に警告灯や警告メッセージなどの異常がないことをご確認のうえ、手動充電 (☞ 16 ページ) をおこなってください。
43	EV 用コンバータで異常を検出したため、EV の接続を解除しました。EV 側に警告灯や警告メッセージなどの異常がないことをご確認のうえ、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
44、45	EV への充電電流が少ない状態が続いたため、V2H システムの保全のために EV の接続を解除しました。発電が十分にある時もしくは家庭内の消費電力を減らした後に、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
46	EV が放電できない状態となったため、EV の接続を解除しました。EV の設定をご確認ください。EV-IT 等のサービスにより設定変更された場合にも放電できない状態になる場合があります。
47	EV のシフトレバー位置がパーキング以外のため、安全のために EV の接続を解除しました。
48	放電非対応車が接続されたため、EV の接続を中止しました。放電非対応車は手動充電のみ可能です (☞ 16 ページ)。
49	EV 用コンバータの温度が低い場合、EV の接続を解除しました。温度が上がった後に、マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。
61	EV に充放電コネクタが取り付けられていないため、EV の接続を中止しました。
63	停電時起動用ケーブルが取り付けられていますが、EV が接続されていません。マルチエネルギーモニタの V2H 操作画面もしくは EV 用コンバータ側面の自動運転ボタンで EV の接続をおこなってください。

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

	こんなときに	確認してください
V2H システム	EV を充電できない EV から放電できない	次のような場合には EV に充電／放電されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ EV の電池残量が V2H 充電上限以上／EV 側の充電上限以上になっている ・ もしくは V2H 放電下限値以下／EV 側の放電下限以下になっている (☞ 20 ページ) ・ 手動充電後の充電後待機中状態になっている (☞ 17 ページ) ・ 低温の場合など EV が電池保護のために充電／放電を禁止もしくは制限している ・ 充放電コネクタの取り付け後 EV の接続をしていない。
	勝手に EV が接続解除された	エラー等によりパワーコンディショナやマルチエネルギーモニタが停止または再起動した際に EV の接続が解除される場合があります。

	こんなときに	確認してください
充放電コネクタ	充放電コネクタがEVから取り外せない	マルチエネルギーモニタの画面にエラーが表示されているか確認し、表示されている場合は画面の指示に従ってください。 エラーが表示されていない場合は、EVの接続操作/接続解除操作をおこなうことで改善する場合があります。 急を要する場合は下記の「充放電コネクタの緊急離脱について」をご確認ください。
	充放電コネクタがロック状態になっている	充放電コネクタを落とした場合や強い衝撃を与えた場合に、ロック状態になることがあります。 はずれなくなる可能性があるため、EVには取り付けしないでください。 EVの接続操作/接続解除操作をおこなうことで改善する場合があります。
	ケーブルに傷がついている 配線が露出している	感電や事故などの原因となりますので、そのまま使用せずお買いあげの販売店にご相談ください。 ケーブルを引きずったり、踏みつけたり、車両のタイヤで引いたりすると傷等の原因となる場合があります。
	充放電コネクタが凍り付いた	ぬるま湯(20~40℃)をかけて解凍し、付着した水分を十分ふき取ってから使用してください。 この時、電極部分には水がかからないようにしてください。 ぬるま湯をかけることが難しい場合には、ドライヤーの風を当てるかカイロ等を入れて温めたタオルをコネクタの周囲に巻いて解凍し、付着した水分を十分にふき取ってから使用してください。

※ 特定車種との接続について

車種によって、設定のタブの「V2H 設定」(P.20 ページ) から「特定車種設定」が必要となります。設定が必要な車種や設定内容は、下記ホームページ「対応車種一覧」の各メーカーの対応車種説明ページに記載しています。

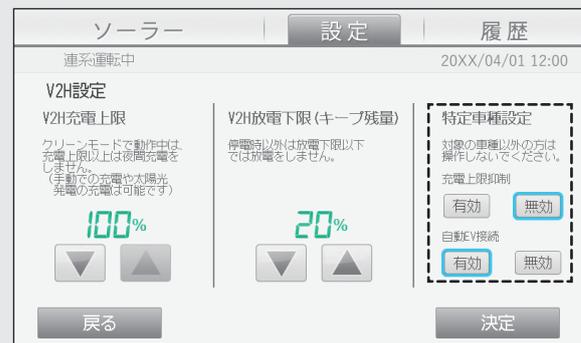
<https://jp.sharp/sunvista/v2h/v2h-connect/>



● 設定項目について

充電上限抑制：「有効」に設定した場合、EV 側で設定されている充電上限に達する前に充電が停止します。EV の手動充電では充電上限まで充電を行います。初期設定では「無効」に設定されています。

自動 EV 接続：充放電コネクタの自動ロック機能がある車種について、その機能を「有効」または「無効」に設定できます。初期設定では「有効」に設定されています。



充放電コネクタの緊急離脱について

上記の「充放電コネクタがEVから取り外せない」の項をご確認のうえで充放電コネクタが外れない場合には、V2Hシステムをお買いあげの販売店、または修理に関する相談窓口(P.裏表紙)へご連絡ください。急を要する場合は、付属の「充放電コネクタ緊急離脱工具」を使用して充放電コネクタを取り外すことができますが、ご使用前に緊急離脱工具取扱説明書の注意事項を十分にご確認ください。操作方法や注意事項は「充放電コネクタ緊急離脱工具」が封入されている緊急離脱工具取扱説明書をご確認ください。

保証とアフターサービス

製品の保証

- シャープ販売代理店を通じてご購入されたお客様は、同梱されております保証書の「お引渡し日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。シャープ販売代理店以外でご購入されたお客様は、ご購入先販売店の保証取り決めをご確認ください。
- 保証期間
EV用コンバータ※はお引渡し日から5年間です。※充放電コネクタ、充放電コネクタケーブル部はお引渡し日から1年間です。
EV用コンバータケーブルはお引渡し日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

このV2Hシステムの補修用性能部品を、製造打切後、10年間保有しております。
なお、移設に要する費用は、お買いあげの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには（出張修理）

マルチエネルギーモニタの表示をご確認のうえ、EVの接続を解除したうえで、お買いあげの販売店もしくは修理に関するご相談窓口（☎裏表紙）に修理をご依頼ください。お客様ご自身での修理はたいへん危険ですので、絶対におこなわないでください。

- 保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規程に従って修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
（点検のみの場合は有料です）
- 修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修理するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他、修理に付帯する部材を含む場合もあります。
出張料	お客様のご要望により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

※ シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の取扱いの詳細については、<https://corporate.jp.sharp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

転居や廃棄されるときは

V2Hシステムを転居などにより別の場所に移される時、または廃棄される時は、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になることがありますので、必ずお買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口（☎裏表紙）にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買いあげの販売店もしくは修理に関するご相談窓口（☎裏表紙）にご相談ください。

お手入れの仕方

V2H システムを長年ご使用いただくため、以下の要領でお手入れをお願いいたします。
パワーコンディショナやマルチエネルギーモニターなどのお手入れのしかたは、取扱説明書（太陽光発電システム／蓄電池システム）をご確認ください。

EV 用コンバータ、据え置きスタンド、充放電コネクタ、ケーブルのお手入れ

！ ご注意

- ◆お手入れの際は充放電コネクタのケーブルを EV から取り外してからおこなってください。
- ◆充放電コネクタの電極部位には直接手で触れないようにしてください。
- ◆有機溶剤（ベンゼンなど）や薬剤（シンナー等）は使用しないでください。
- ◆運転直後など本体の温度が高くなっている場合があります、しばらく時間をおいてからおこなってください。

● 表面の清掃をおこなう

水洗い、高圧洗浄装置や洗剤、薬品類（スプレー剤などを含む）を使わず、乾いた布または固く絞ったやわらかい布で本体を拭いてください。

汚れがひどい場合は、やわらかい布を水にひたし、よく絞って汚れを拭き取ってください。

その後、乾いたやわらかい布で水分を拭き取ってください。

仕様

名称	EV 用コンバータ
形名	JH-WE2301
設置場所	屋外／屋内
充電部 出力電力	6.0kW
放電部（連系時）出力電力	6.0kW
放電部（自立時）出力電力	6.1kW
最大入出力電流	20.2A
DC バス定格電圧	DC340V
質量	23kg ^{*1}
充放電コネクタケーブル長	7.8m ^{*2}
運転音	34dB 以下 ^{*3}

※ 1 取り付け金具、充放電コネクタ、充放電コネクタケーブルを含む。

※ 2 充放電コネクタのコネクタ部分は除く。

※ 3 運転時、JIS Z 8733：2000 に基づく、A 特性音響パワーレベル測定での値です。

もくじ

はじめに

各部の名前とはたらき

システムを使う

履歴を見る

設定する

ネットワーク設定をする

このおうちなごきは

お客様ご相談窓口のご案内

お問い合わせの前にもう一度「このようなときは」(26 ページ) をご確認ください。

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。



【会員サービス】「COCORO MEMBERS」入会で製品情報を上手に活用

ご利用製品を「MY家電登録」いただくと、別売品などのサポート情報が手軽にご利用頂けます。

<https://jp.sharp/support/sp/cocoro/cocoro.html>

COCORO MEMBERS
MY家電登録はこちら



いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス！
よくあるご質問の確認や、チャットでの質問ができます。

シャープ お問い合わせ

検索

<https://jp.sharp/support/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



■ QRコードについて

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。誘導されるサイト、および動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。



使いかた・お手入れなどのご相談窓口 おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く)

●月曜～土曜: 9:00～18:00 ●日曜・祝日: 9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 48 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 190

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 5982*	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

※2025年10月1日より、電話番号が「050-3385-8374」に変更となります。



修理に関するご相談窓口 おかけ間違いのないようにご注意ください。

故障かな?とお困りのときは、いつでも便利なWebサービス「故障診断ナビ」をお試しください。故障と診断された場合は、そのままネットで修理申し込みができます。

https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/solar/navi_top.html

お電話でのご相談は下記へ

受付時間 (年末年始を除く)

●月曜～土曜: 9:00～20:00 ●日曜・祝日: 9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 5982*	06 - 7732 - 8086
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

※2025年10月1日より、電話番号が「050-3385-8374」に変更となります。

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

所在地・電話番号・受付時間については、変更になることがあります。(2025年8月現在)